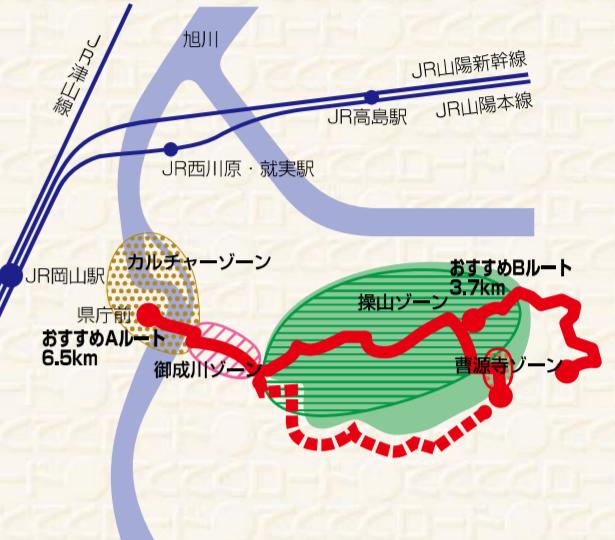




操山ルートは、岡山城、林原美術館、神社、寺など歴史・文化資源が数多く分布するカルチャーゾーン、御成川沿いや内田百間などに散策する御成川ゾーン、操山を登り、古代の歴史や新たに整備された操山公園を歩き、頂上から岡山市の市街地を眺める操山ゾーン、曹源寺の歴史をたどる曹源寺ゾーンに大きく分けられます。おすすめの県庁前から操山の西側、中央部を歩き、曹源寺へ至るAルートは約6.5km、操山東部を歩くBルートは、3.7kmです。



てくてくロード

岡山市には、温暖な気候に育まれた自然が多く残り、吉備のものたらした古の歴史的資源をはじめとする数々の歴史的、文化的遺産も多く、四季折々の風物も豊かです。しかし、車社会と呼ばれる今日では歩くことが少なくなり、これらの貴重な資源に触れる機会が減少し、歩くという健康的な活動から遠のいているといえます。このような状況を改善するため、岡山市では環境にやさしいまちづくりを進めている環として、ふるさと岡山をゆっくり歩き、身近な自然とのふれあいの場を提供する遊歩道の展開へ向けて「岡山市遊歩道ネットワーク【てくてくロード】」を策定しました。

遊歩道ネットワークが広く市民に活用され、ふるさと意識の醸成、歴史文化財への理解、さらに健康づくりに貢献することを願っております。

ルート内の主な公共施設

天満屋(バスステーション)…TEL086-231-7733	岡山城管理事務所…TEL086-225-2096
岡山電気軌道…TEL086-272-5520	岡山東部便局…TEL0570-943-325
内山下文番…TEL086-222-4555	岡山市京都便局…TEL086-273-9901
富山交番…TEL086-277-8346	岡山内山便局…TEL086-277-2361
東山交番…TEL086-273-0942	岡山吉部便局…TEL086-277-2811
富山公民館…TEL086-274-0827	
竜井整形外科病院…TEL086-273-1233	
岡山立石病院…TEL086-272-2121	
岡山シフォニーホール…TEL086-234-2001	
林原美術館…TEL086-223-1733	

岡山市遊歩道ネットワーク てくてくロード

第4版:2025年(令和7年)3月発行
岡山市

お問い合わせ
岡山市都市整備局道路部道路計画課
TEL086-803-1695

Aルート《曹源寺バス停》

Bルート《Bルート分かれ》

あきカン・ゴミは持ち帰りましょう

金蔵山古墳

H-3

この古墳は、操山古墳群最大の前方後円墳で、4世紀末から5世紀初めに築造されたと推定されます。墳丘は全長165m、前方部巾72m、同高15.5m、後円部径100m、同高18mで三段式と推定されます。昭和28年に倉敷考古館によって発掘調査が行われ、後円部に二つの竪穴式石室と一つの副室が発見され、墳丘全体に埴輪が三段に配列されていることがわかりました。これらの石室からは、鎌、鉄、斧、錐、やりかんな、のみなどの器・工具を中心にして筒形銅器、合子、管玉、勾玉、鏡など貴重な副葬品を出土しました。金蔵山古墳は、吉備地方において造られた作山・岡宮山の各古墳について第四位の規模をもち、古墳時代の吉備地方に君臨した首長の様相・性格などを示すもので重要な文化財です。



(現地解説版より)

吉備津岡辛木神社

J-4

神社は操山古墳の東端にあります。御祭神は吉備津彦命の孫である吉備若建彦命で、海吉・福治(旧笠井郷より東)地区的氏神様です。また、吉備津彦命が温羅といふ悪事を平らげ、平和な国作りを行ったとき、当神社の祭神・吉備若建彦命も上道・海面のあたりを平定したということです。この神社は古くは吉備明宮宮殿と言いました。航海の目標である北斗七星を祭る神として信仰を集めました。また、新しい事を始めるときの道開きの神様として参拝する人も多いといわれています。社殿は東に面していて、江戸末期の文政12年(1829)の建築です。一間社流造檜皮葺の本殿・入母屋造瓦葺の拜殿・鉄門などの建築が並び、随神門は三間一戸の八脚門です。

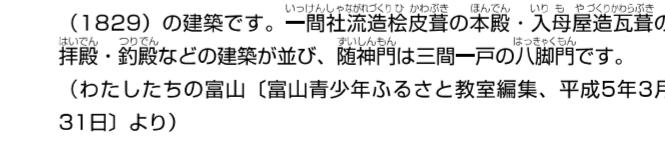


(わたしたちの富山(富山青少年ふるさと教室編集、平成5年3月31日)より)

ゴロゴロ大師

I-3

頭をっこむと「ゴロゴロ」と音がする岩があります。この祈祷をしていくうちに次々と参る人が増え列をなしたといいます。また、ここにはやったので、西大寺線の軽便鉄道の長岡駅、藤原駅の間に新しく大師駅ができました。特に21日の大師様の日にはぎやかで出店が賑わっていました。ゴロゴロ大師は、何でもかないますか、お産の神様ともいいえられています。終戦後はさびれましたが、現在もお堂と岩は残っています。



(幡多二千年の歩み(幡多二千年の歩み編集委員会編集、平成8年5月)より)

Bルート《福泊バス停》



みかわのあかちゃん
瓶井の赤門
(岡山県指定文化財・建造物)
D-3

少林寺から山麓づたいに北に行くと、ベンガラ塗りの瓶井山禅光寺住院の二重門があります。一般には「瓶井の赤門」と呼ばれています。このあたりは、操山の山ふところに抱かれています。

この古墳は、地域の統括者の古墳に見立てられている巨石墳や、石棺を伴う石室に欠けますが、大型・中型・小型・極小の各

種の石室や古墳の集合した群衆墳など、後半期古墳の大部分の形態が揃っています。従って、後半期古墳自体に限らずこの時代の家族や村の構成を研究するうえから貴重な文化遺産です。

(現代のまほろばOKAYAMA自然と文化をたずねて(岡山市経済局観光物産課編集、昭和53年6月)より)

みかわのあかちゃん
安住院
(岡山市指定文化財・建造物)
D-4

この寺院は、天平勝宝年中(749~756)に、報恩大師が創建した備前48ヶ寺の一つと伝えられる禅光寺の本坊であり、現在は真言宗の寺院で、海吉・福治(旧笠井郷より東)地区の氏神様です。また、吉備津彦命が温羅といふ悪事を平らげ、平和な国作りを行ったとき、当神社の祭神・吉備若建彦命も上道・海面のあたりを平定したということです。この神社は古くは吉備明宮宮殿と言いました。航海の目標である北斗七星を祭る神として信仰を集めました。また、新しい事を始めるときの道開きの神様として参拝する人も多いといわれています。社殿は東に面していて、江戸末期の文政12年(1829)の建築です。一間社流造檜皮葺の本殿・入母屋造瓦葺の拜殿・鉄門などの建築が並び、随神門は三間一戸の八脚門です。

(わたしたちの富山(富山青少年ふるさと教室編集、平成5年3月31日)より)



この塔は岡山平野を一望に收める瓶井山の中腹に建立された二層の塔婆です。宝形造りの本瓦葺で、総高20mです。下層は、方三間(約5.6m)の柱間で円柱を用い、組物が和様の二手先で垂木を出して、支輪と軒天井をかけています。四面の各中央部の簷脚の刻は、各方にて即した四神を配置しています。この多宝塔は元禄年間(1688~1703)に時の藩主池田綱政が後楽園の借景として建立に着手したと伝えられ、「みかわの塔」として今まで親しまれています。(現地解説版(岡山市教育委員会、平成元年6月)より)



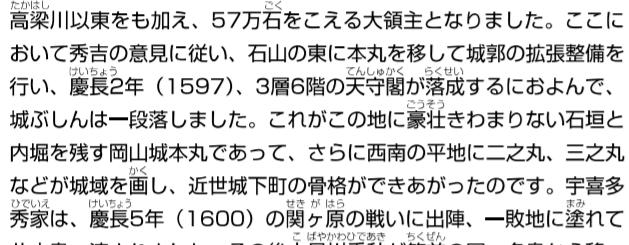
城下から林原美術館前を通じ、岡山城(烏城)に続く道が烏城みちです。道沿いには、対面所長屋門、烏城・外自門跡など岡山城下にちなんだ資源があります。周辺は、カルチャーゾーンに指定されています。

(岡山の地名(岡山市地名研究会著、岡山市編集・発行、平成元年4月1日)より)



備前の國邑から起つた宇喜多直家が、岡山の地・石山の城にいた金光宗高を亡ぼして城郭を拡張し入城したのは天正元年(1573)の秋でした。それまでは金川の松田氏に属する小城に過ぎませんでしたが、直家はこの城を本拠として城下町の建設に着手し、岡山の繁栄の基礎をつくりました。その子八郎秀家は、豊臣秀吉の殊遇を受け、直家の守備である備前、美作のほかに備中の内の高梁川以東をも加え、5万石をこえる大領主となりました。ここにおいて秀吉の意見に従い、石山の東に本丸を移して城郭の拡張整備を行い、慶長2年(1597)、3層5階の天守閣が落成するに至って、城ぶしは一段落しました。これがこの地に巣立きわざりない石垣と内堀を残す岡山本丸であって、さらに西南の平地に二之丸、三之丸などが城域を画し、近世城下町の骨格ができあがりました。宇喜多秀家は、慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いに出席、一敗地に塗れて八丈島へ流されました。その後小早川秀秋が筑前の主・島良から移つて岡山城主となりましたが、在城わずか2年余りで急死し、後継者がいなかつたのでこの家は絶滅しました。その後姫路城主由禪政の二男、忠繼に備前一国が与えられ岡山城にはいました。以後池田氏31万5千石の時代が続き明治維新に及びました。

(現地解説版より)



備前の國邑から起つた宇喜多直家が、岡山の地・石山の城にいた金光宗高を亡ぼして城郭を拡張し入城したのは天正元年(1573)の秋でした。それまでは金川の松田氏に属する小城に過ぎませんでしたが、直家はこの城を本拠として城下町の建設に着手し、岡山の繁栄の基礎をつくりました。その子八郎秀家は、豊臣秀吉の殊遇を受け、直家の守備である備前、美作のほかに備中の内の高梁川以東をも加え、5万石をこえる大領主となりました。ここにおいて秀吉の意見に従い、石山の東に本丸を移して城郭の拡張整備を行い、慶長2年(1597)、3層5階の天守閣が落成するに至って、城ぶしは一段落しました。これがこの地に巣立きわざりない石垣と内堀を残す岡山本丸であって、さらに西南の平地に二之丸、三之丸などが城域を画し、近世城下町の骨格ができあがりました。宇喜多秀家は、慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いに出席、一敗地に塗れて八丈島へ流されました。その後小早川秀秋が筑前の主・島良から移つて岡山城主となりましたが、在城わずか2年余りで急死し、後継者がいなかつたのでこの家は絶滅しました。その後姫路城主由禪政の二男、忠繼に備前一国が与えられ岡山城にはいました。以後池田氏31万5千石の時代が続き明治維新に及びました。

(現地解説版より)



森林は山火事が大敵です。操山も、この山火事のため、いくたびか失われました。昭和20年頃、防火のため、峯筋に防火樹として、カナメモチ、ヤマモモを植え、雑草の刈払いなどの手入れを��け、この縁のトンネル並木に育ちました。

(現地解説版より)



森林は山火事が大敵です。操山も、この山火事のため、いくたびか失われました。昭和20年頃、防火のため、峯筋に防火樹として、カナメモチ、ヤマモモを植え、雑草の刈払いなどの手入れを��け、この縁のトンネル並木に育ちました。

(現地解説版より)



森林は山火事が大敵です。操山も、この山火事のため、いくたびか失われました。昭和20年頃、防火のため、峯筋に防火樹として、カナメモチ、ヤマモモを植え、雑草の刈払いなどの手入れを��け、この縁のトンネル並木に育ちました。

(現地解説版より)



森林は山火事が大敵です。操山も、この山火事のため、いくたびか失われました。昭和20年頃、防火のため、峯筋に防火樹として、カナメモチ、ヤマモモを植え、雑草の刈払いなどの手入れを��け、この縁のトンネル並木に育ちました。

(現地解説版より)